

# ヨミネス しばた

Yominesu Shibata News

議会だより

特集

「令和8年度予算」を審議しました！

第159号

発行/新発田市議会  
編集/広報広聴委員会



新しい保育園が完成！  
議会で現地視察



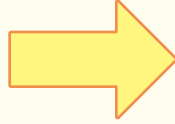
地域の  
子育て支援施設を  
チェック！

## 新しい大峰保育園が2月9日に開園しました

新潟県内の自治体初、公立保育園では全国3例目となる『ZEB』認証保育園で、大容量の太陽光パネルや蓄電池を設置するなど、令和3年に宣言したゼロカーボンシティに貢献する過疎対策事業債を活用した施設です。大峰保育園は最高ランクの『ZEB』の認証を取得しました。

対前年度+10.8億円 (+2.3%)

令和7年度  
約467億円



令和8年度  
約477.8億円

「明」をまちづくりのキーワードに前年度比10.8億円増とし、「住みよいまち日本一 健康田園文化都市しばた」を目指し、各施策をより一層強く推し進めていくための4年連続の超積極予算となっています。予算審査は、協議したテーマについて重点的に議論を行いました。

事前に  
協議し  
集中的に  
審議した  
テーマ

総務関係

● 脱炭素社会の推進

社会文教関係

● 子育て支援

(産後ケア、私立保育園、児童クラブ、放課後子ども教室、放課後等デイサービス)

経済建設関係

● DMOの推進

議員から選抜  
された委員が  
予算審査特別  
委員会で議論

一般会計予算審査

特別委員会

委員長	宮崎光夫
副委員長	三母高志
	若月学隆
	宮野清隆
	小柳はじめ
	宮本佳太
	加藤和雄
	中村こう
	広岡けんじろう
	石山洋子

議員間で意見を交わした

脱炭素社会の推進について

原油価格が上昇している中で、非常にタイムリーな政策である。市民がメリットを感じることで、市全体としてCO<sub>2</sub>削減に取り組むことが求められている。

市単独では相当な経費がかかる。補助金、交付金について情報を収集しながら進めて欲しい。

国政の状況から交付金がいつまで継続するか不透明。交付金がある時にしっかりと進めてもらいたい。脱炭素の取組は、家庭等身近なところからも取組めるので、担当課だけではなく、市全体で機運を醸成していくことが重要である。

市の実績を報告し市民に目標を示し市民の理解を得て、小さなところからでも進める必要がある。

事業内容を市民にPRすることが大切である。家計への効果だけではなく、地球環境にとっても必要だということを様々な手段で示すべき。家計への効果や脱炭素推進の意義を周知する必要がある。



# 予算を審査・可決しました

## 市長と一問一答 市長総括質疑

### トップセールスによるインバウンド誘客について

- Q 市長のトップセールスの中で、人のインバウンドの成果が見えてこない。令和8年度はどのような戦略で取り組むのか。
- A 韓国のエージェントから倍増したいという力強い話があった。韓国、台湾、香港を重点的に取り組みたい。



### 中学校給食費の支援について

- Q 令和8年度から小学校給食は完全無償化になったが、中学校は先送りになった。食材費の高騰により年々値上げされており、せめて値上がり分について支援が必要では。
- A まずは、小学校の無償化が実現するよう全国市長会を通じ国に強く要望してきた。予算編成は全体のバランスが大切である。中学校については、国が令和9年度に検討するとしているので、もう少ししばらく待つて欲しい。



### 蔵春閣の直営について

- Q 3年間は市の直営で運営すると過去に答弁があった。この度、3年を迎えるが、今後の運営方針は。
- A 蔵春閣を徐々に知ってもらい、ようやく様々な活用ができるようになったので、もう少し直営としたい。
- Q 文化財となると制約を受ける恐れがあるが利活用しながらどのように進めるのか。
- A 地方で蔵春閣のような公共施設を黒字化するのは難しいが、諦めることなく国宝に負けない施設となるよう運営したい。



本会議での  
認定へ

本会議での賛成・  
反対の討論は次の  
ページへ

## 「自由討議」の内容

### DMO(観光地域づくり法人)の推進について

DMOとしての観光協会の組織体制が明確ではなかったのではないかと。観光協会と観光振興課が進めるべき連携、望むべき関係とは。

■稼げる農業もDMOに含めて「もののアウトバウンド」を進め、同時に市長のトップセールスで海外から誘客する仕組み作りが必要。

■新年度からシティプロモーションを進める中で、DMOとの関係、立ち位置を注視したい。

■有望な若手料理人が多い新発田では、「食」にストーリー付けをすることもよいと思う。地域ブランド構築の司令塔として、ビジョンを持って取り組んで欲しい。

※DMOとは、観光地づくりの司令塔となる組織で、自治体や企業など域内の関係者と観光振興に取り組む観光地域づくり法人のこと。

### 子育て支援について

新発田市の子育て支援は、他市より抜きん出ていると思う。厳しい財政状況でも、子育て世代のニーズに合わせて対応すべきではないか。

■子育て支援はバランスよく対応している。結婚、出産、子育て、更に移住・定住を増やすには、中学、高校の教育の分野まで踏み込んだ体系的な対応が必要。

■新発田で生まれた子どもたちが新発田に戻ってこられるような産業政策も含めた子育て支援政策を作るべき。

■こどもの医療費助成の議論が時代の要請によって実現したように、多くの市民が望む声を議会や市役所がきちんと捉えていくことが子育てしやすい新発田に繋がると考える。

# 討論

令和8年度一般会計予算について  
賛成・反対の意見を述べています

## 賛成

共道しばた **三母 高志**

米国とイスラエルのイラン攻撃は容認できない。物価高が市民生活を直撃する危機的事態だ。政府は平和外交努力を、新発田市は物価高対策で市民生活の安心確保を求める。本予算は477億8千万円の前年比大幅増だ。脱炭素や子育て支援、DMOについて審議を重ね、真に豊かな地域形成と最大限の効果を期待し賛成とする。

## 賛成

令和会 **宮野 清隆**

令和8年度一般会計予算は4年連続増の積極予算で、国の地方重視の方針と歩調を合わせ「健康長寿」「少子化対策」「産業振興」「教育の充実」にバランス良く重点配分された内容である。子育て支援や小学校の給食費完全無償化、産業・文化振興など、本市の課題解決と将来への投資を両立させた点も評価し賛成する。

## 賛成

市民クラブ **中村 こう**

高齢者のフレイル予防や乳児等の通園支援と産後ケアの拡充、蔵春閣の利活用とまちなか賑わい創出、さらに小学校の給食費全額支援としばたの心継承プロジェクトの実施等、各事業の効果を期待する。地域おこし協力隊設置には魅力度アップ、市長のトップセールスの成果の更なる見える化、市街地の空きビル等の危険回避を求め賛成する。

## 賛成

すすむ会 **小柳 はじめ**

市長公約の中学校給食と保育料の無償化は早期完全実現すべきだ。歳出面では無機質なカットが目立ち「将来への投資」が損なわれており、新設のシティプロモーション室に期待したい。市民の収入が目減りし、企業の経営環境が厳しい中「市職員は恵まれている」ことを十分に噛みしめ効率の良い行政運営を行うことを期待する。

## 賛成

新友会  
**広岡 けんじろう**

過去最大規模の予算であり、ふるさとしばた応援寄附金を前年度より4億円増の寄附額15億円と見込み、財政調整基金からの繰入れも大幅に抑制している。小学校給食費無償化や子ども医療費助成拡充、福祉・産業振興・教育・防災対策を着実に前進させる内容であり、健全財政への目配りがなされ編成された予算であることから賛成。

## 反対

日本共産党市議団  
**宮村 幸男**

新年度予算は大型予算であるが、物価高が続く、市民や経済界への直接支援が求められている。学校給食費無償化は、市長が選挙公約としており、中学校も無償化すべきではないか。医療や介護は「健康長寿」の点で重要だ。介護保険の多額な基金を取り崩し、より充実を図るべきだ。山間地では農林業・農村振興を図り人口減に歯止めをかける予算とする必要がある。

## 賛成

公明党 **石山 洋子**

予算増額で利用ニーズに対応した産後ケア。広域利用を可能にし利便性が向上する病児病後児保育。働き世代に重点を置いた生活習慣病予防等、市民に必要な事業の拡充が見られている。市長トップセールスのインバウンド誘客にも期待。不透明な世界情勢が市民生活に与える影響が懸念されるが確実な予算執行と健全財政を望み賛成する。

# 7つの特別会計、2つの企業会計の予算を 審査・可決。主な議論は次のとおりです。

## 【コミュニティバス事業】

Q 令和8年度に計画している運行見直しの内容はどのようなものか。

A 「かじかわ号」の2路線体制については、利用実態や乗客数を踏まえ、地域住民との協議を重ねた結果、4月から路線を統合する方針とした。利便性の向上を図るため、商業施設への停留所を新たに追加するなど、地域住民に寄り添った運行内容に変更する。

「ささき号」については、高校生利用がほとんどない状況を踏まえ、重点支援対象を高齢者の買物や通院に変更する方針で地域と協議を進めている。具体的な変更開始時期は未定だが、今夏頃の開始を想定している。

今後も各地区で検討会議を継続し、地域の声を聞きながら、可能な範囲で運行を見直していきたいと考えている。



かじかわ号

## 【国民健康保険事業】

Q 国民健康保険税において、子ども・子育て支援分が負担増になるのか。

A 子ども・子育て支援金については、国民健康保険だけでなく、社会保険も同様に負担するものである。

市国保では子ども・子育て支援金分を新設することで、約5千万円の引上げとなるが、医療分を引き下げることで負担増を実質的に抑えることとしたい。

## 【下水道事業】

Q 国では流域下水道をやめて、個別処理いわゆる合併処理浄化槽を推進していく流れがあるが、当市の流域下水道には影響があるのか。また、今後の事業継続の見込みは。

A 国では、人口減少が著しい地域において、下水道による集合処理から浄化槽による個別処理への転換を推奨している。

現在進めている未普及整備事業については、令和25年の完了を目指している。

## 議会を傍聴してみませんか

市議会では市民の皆さんに身近な問題を審議しています。

市民の皆さんが市議会における審議状況を知ることができるように、本会議や委員会を原則として公開しています。

新発田市民はもちろん、だれでも本会議や委員会の状況を直接ご覧いただけます。



みなさんも  
傍聴にお越し  
ください！



## 1月臨時会

### 物価高騰対応経済対策の第2弾を行います。補正予算規模は8億6,530万円

●物価高騰に直面する生活者、事業者、低所得世帯の支援

- ・市水道局が実施する水道基本料金4か月分の減免に対する経費等を支援します。
- ・住民税非課税世帯に灯油等の購入助成として、一世帯当たり2万円を支給します。

●地域経済の成長、生産性向上を促す支援

- ・水稻、施設園芸、畑作物、園芸、畜産農家、水産関係者、鳥獣害対策関係者等への物価高騰に伴うかかり増しに対する経費を支援します。
- ・観光事業に対する需要の喚起及び経済支援策のため、「今・得キャンペーン」を実施します。

●子育て環境、福祉施設の安定運営に資する支援

- ・子育て世帯へ、給食食材の高騰による保育園、認定こども園、小・中学校の給食費の値上げ分を支援します。
- ・介護事業所の運営を行う事業者へ支援します。

<社会文教常任委員会での質疑>

- Q 福祉サービス事業所への補助は、具体的にどのような根拠で補助をするのか。  
 A 令和5年度に支給した光熱費等支援金に令和7年度までの物価上昇率を根拠として、令和6年は2.3%、令和7年は2.1%を加味して算定している。支給額の考え方は、居宅サービスあるいは施設所に関するサービスなど、サービスの種別ごとに金額を設定して支給する。



1月臨時会



2月定例会

主な議案等に対する賛否の一覧 詳細およびここに記載以外の議案は市議会ホームページをご覧ください。

開催時期	議案番号	議案内容	賛否
1月臨時会	議第78号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第12号)議定について	全員賛成
2月定例会	議第81号	新発田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	全員賛成
	議第106号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第15号)議定について	賛成多数
	議第115号	令和7年度新発田市一般会計補正予算(第16号)議定について	全員賛成
	議第116号	令和8年度新発田市一般会計予算議定について	賛成多数
	議第118号	令和8年度新発田市国民健康保険事業特別会計予算議定について	全員賛成
	議第103号	市道路線の廃止について	全員賛成
	議第104号	市道路線の認定について	全員賛成
	議会第13号	物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書	全員賛成

# 主なものをご報告します

## 2月定例会

当市で収録予定の「出張！なんでも鑑定団」の出演者の募集告知コマーシャル等に要する経費を補正します

### ●出張！なんでも鑑定団in新発田市開催事業

<総務常任委員会での質疑>

Q 経費の内訳、制作会社の負担と市側の負担について伺う。

A テレビCM、チラシ等のデザイン、事務局運営、当日の照明・音響の経費に2,321千円の委託料を計上している。

また、市には放送に係る経費の負担はない。



新発田市観光協会、観光案内所が松縁館ビル(旧北越銀行新発田支店)へ事務室を移転するための経費を補正します

### ●新発田市観光協会支援事業

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 現在の事務室に係る経費の減額はどうなっているのか。

A 今回の2月補正では、新事務室のイニシャルコストを計上している。ランニングコストについては、令和8年度当初予算となり、現事務室分は減額し、新事務室分を計上している。

東中学校のエレベーター棟増設工事に要する経費を補正します

### ●中学校施設整備事業

<社会文教常任委員会での質疑>

Q 市内小・中学校には給食運搬用エレベーターはあるが、人を乗せるエレベーターの整備計画はあるのか。

A 東中学校に肢体不自由の生徒が入学することに備え整備した。市内小・中学校全体の整備計画はないが、今回のような事例を踏まえ必要性を見ながら整備の順序を考えていきたい。

紫雲の郷館に係る経費等を補正します

### ●紫雲の郷館管理運営事業

<経済建設常任委員会での質疑>

Q 歳入が8,000千円の減額、歳出が6,373千円の増額となり、経費が増えてきているが、今後の対策は。

A 運営事業者を自由提案で公募し、県内外の10社から応募があった。現在、選考委員会で、優先順位を付け協議を進めている。なるべく早い段階で受託候補となる事業者を決定したい。

こども誰でも通園制度に対応し

「新発田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を制定します

<社会文教常任委員会での質疑>

Q こども誰でも通園制度については、こども家庭センターの設置に伴い実施してきたと捉えていたが、実施予定はどの園か。またその園での支援はどのような内容になるのか。

A こども誰でも通園制度は、地域子育て支援センターを併設する天ノ原、川東、ななは、豊浦、紫雲寺の公立5園でまずはスタートする。  
こども誰でも通園制度は、国が令和8年度から本格実施することとしていたため、市では令和6年度に一時預かり事業の受入年齢を引き下げ、こども誰でも通園制度の利用対象となる年齢の児童を受け入れてきた。国は育児不安の解消、こどもが集団に入った時の練習などを目的としている。一方、一時預かり事業は、保育できない方を受け入れることとしているが子どもが受けるサービスとしては類似の事業と考えている。



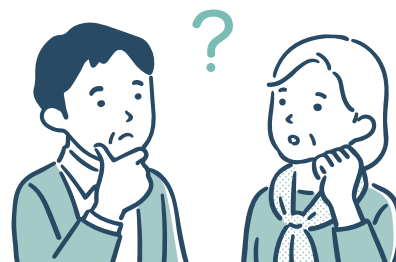
## 市長おしえて！ しばたの未来は？どこへ向かうの？

### 代表質問とは？

主義、主張を同じくする議員で構成された「会派」の代表者が、市長の施政方針や予算編成方針に対して質問を行います。

代表質問の内容の一部概要をご紹介します。

代表質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



- Q1 市長在任4期16年の公約集から施策を点検
- Q2 市長の中長期ビジョンは凡庸としか言えない

● すすむ会 小柳はじめ 議員



- Q 令和6年目玉予算だった脱炭素事業が今回は大幅後退だ。
- A 2年前は国補助金が不採択となり再エネ中心に実効性を高めた。
- Q 小学校給食無償化は国方針で実現したが公約は中学校までだ。
- A 中学校無償化は国の出方を待つ。
- Q 3期目公約の保育料完全無償化は国からハシゴを外され公約未達のままだ。

- A 1歳まで保護者が育てるのが信条で2歳児以上の無償化で公約達成であり未満児無償化はやらない。
- Q 「安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる環境」の文言自体が昨今では的外れだ。
- A 中高生向け講座では7割が将来結婚したいと回答しており叶えるのが使命だ。



- Q1 カーボンニュートラルの取組みについて
- Q2 新たな地場産品づくりについて

● 共道しばた 小坂博司 議員



- Q 各国が温室効果ガス削減に取り組む中、米トランプ大統領は自動車等の環境基準緩和を進めようとしている。地方自治体のリーダーとして市長の見解は。
- A 国ごとの政策判断に直接的に論じる立場にはないが、地域社会への気候変動の影響は認識している。
- Q 「伝内柿」は、250年前に新発田市等に移植され糖度は23.5度と群を抜く。定住自立圏の新たな特産品にどうか。

- A 当市の特産品とするには、高品質化や安定した生産・出荷体制の確立、生産者が一丸となって機運を高めることが必要。市として機運醸成されるよう尽力・協力したい。





**Q1 産後ケアハウス等支援策を問う**  
**Q2 新年度に向けた教育方針を問う**

● 市民クラブ 中村 こう 議員



- Q 安心して妊娠・出産・子育てができるよう市民団体の設立や施設設置の考え方と、産後ケアハウスへの支援策について伺う。
- A 医療機関等に事業進出などを働きかけている。前年度の2.2倍の予算措置を行うとともに施設整備には各種補助等を用意している。

- Q 子ども達の教育環境は複雑化・多様化している。子ども達が健やかに成長できる学校づくりをどのように進めていくのか伺う。

- A ひとが第一、ひとが大事、新発田の教育を基本理念に、安全安心に過ごせる相談体制の強化と課題に対応する組織の充実を図る。



**Q1 駅前～新発田城へ至るエリアの今後について**  
**Q2 人口減少を乗り越える未来戦略について**

● 新友会 板倉 久徳 議員



- Q 回遊ルート上の大型空き店舗をはじめ、空き店舗・空きビルが点在しているが対策は。
- A 空き店舗・空きビルの利活用促進等、官民連携によるまちづくりを推進していく。
- Q 新規出店支援を拡充し、新道・掛蔵エリアを「稼げる歴史エリア」として再生すべきでは。
- A 新規出店者への支援等、商工団体とも連携し出店者増加とエリア活性化を進めていく。

- Q シェアオフィスやサテライトオフィス等、小規模でも人を呼び込む働く拠点づくりが必要では。

- A シェアオフィス等の拠点整備、若者や移住者が働きやすい環境づくり等を進め人口流入につなげていく。



**Q1 介護事業者に介護報酬の上乗せ補助や支援を**  
**Q2 75歳以上の健診の充実と公費負担の拡充を**

● 日本共産党市議団 加藤 和雄 議員



- Q 当市での直近の介護事業所の廃止・休止の実態は。
- A 6年度は休止が3、廃止が2、7年度は休止が4、廃止が2事業所。
- Q 低い介護報酬等で、倒産・廃業が多い。市独自の介護報酬への上乗せ補助や緊急支援をすべきでは。
- A 基金を活用しての支援は今後の介護保険料に影響があることから考えていないが、国

の物価高騰交付金での支援は1月臨時会で承認済み。

- Q 75歳で後期高齢者医療保険になると、人間ドッグ助成額に差があり負担が大きくなる。助成の拡充はできないか。

- A 市の一般財源投入額が年々増加しているため、現時点では考えていない。





**Q1 財政の世代間負担の可視化について**  
**Q2 新発田市基幹産業の農業の促進について**

令和会 五十嵐良一 議員



- Q** 将来世代が負担するインフラ維持コスト及び社会保障負担を数値化した「世代間負担指数公表制度」の策定について伺う。
- A** 現行の行政サービスやインフラ整備・維持にかかるコストが将来世代にどの程度の財政負担を強いるかを今後研究するよう指示した。
- Q** オーガニック農業における有機認証取得、資材購入、土壌改良等の支援及び後継者育

成や農業法人経営体支援事業拡充について伺う。

- A** JAS認証取得補助や有機米への作付け転換で面積が拡大し、また除草ロボット導入支援や有機堆肥のペレット化で利便性向上が図られた。



**Q1 持続可能な農業・農村について**  
**Q2 プラスチックごみの資源循環の強化について**

公明党 渡邊喜夫 議員



- Q** 農業を守る施策から稼げる農業へ進化の予算か。次世代へつなぐ成長投資とするのか。
- A** 高収益作物へ転換支援は産地交付金を活用。市の単独事業は機械や施設整備の支援や園芸サポート事業。国、県の支援では行き届かない部分の充実を図る。
- Q** プラスチックごみを回収、リサイクルして将来的に市の指定ごみ袋を作成し、市民の積極的なリサイクルの推進につなげる検討は。

- A** 分別収集したものを業者に販売、最終的にはごみ袋に変わるなど、いろいろなものに再利用が考えられる。

※ 他に増加が予想される外国人の定住について質問した。



プラスチックの回収へ

**インターネットで生中継します！**



市議会ホームページでは、本会議のインターネット生中継を行っています。

パソコンやスマートフォンなどで本会議の様子が視聴できます。また、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。

なお、ご視聴の際は、市議会ホームページに掲載の「ご利用案内」等をご確認ください。

本会議の生中継は、本庁舎1階ロビーのモニターでも行っています。

ぜひご覧ください。

**新発田市議会**  
Shibata City Council

---

**新発田市議会録画放映**

▶ 別ウィンドウで表示(上で再生できない場合)  
 ▶ 映像が見られない場合  
 ▶ 前の画面に戻る

**会議名:** 本会議 (提案理由説明・委員会付託)  
**会議日:** 令和8年2月25日 午前10時  
**日程:**  
 本会議 (提案理由説明・委員会付託)

**録画内容:**  
 開会  
 議長の報告  
 会議録署名議員の指名  
 会期の決定

▶ ご覧いただく各映像は、新発田市議会の公式記録ではありません。

Copyright(c) 2022 新発田市議会公式サイト Shibata City Council. All Rights Reserved.

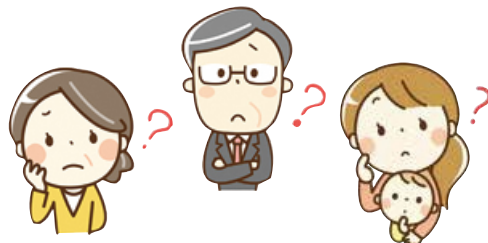
# 今後の生活 どう変わる？どうなるの？

## 一般質問とは？

私たちの暮らしに関係する身近で大切な問題について、議員が市長や教育長に直接聞いたり、提案をします。

一般質問の内容の一部概要をご紹介します。

一般質問の内容を動画で視聴できます。市議会ホームページの「議会中継」から「本会議録画配信」を検索するか、スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み取りご覧ください。



### Q1 商店街の活性化・再開発の考えについて

### Q2 しばた台輪歴史三百年の今年の祭りについて

▶ 長島 徹 議員



- Q 市長が思い描く将来の商店街像とは。
- A 商店主の想いが街づくりに生かされ共に活性化に取り組んで行くことである。
- Q ハヤカワビル・レジャー会館の早急の対応を望むが。
- A 民間の所有であるため市が除却することは極めて困難である。また、試算だがハヤカワビル撤去費用は6億円超である。

- Q 来訪に繋げるために首都圏等に新発田市や台輪300年の記念の年をPRするプロモーションビデオ作成の考えは。
- A 提案を頂いたので担当課に指示していく。
- Q おまつりパレードの賑わいを復活させたいと思うが。
- A 出来るだけのことはやっていく。



まちなかの老朽化ビル



### Q1 ジビエ加工所の設置について

### Q2 敬和学園大学との共生と連携について

▶ 若月 学 議員



- Q 有害鳥獣捕獲後の食肉解体施設の考え方について。
- A 食育の観点で施設は重要と考えている。
- Q 公共施設等総合管理計画に基づく活用目的に合致している施設は。
- A キネス本田の1教室を計画している。
- Q 学生へ市採用試験のPRが必要では。
- A 今年度から全学年を対象に市のオープンカンパニーを実施。

- Q ふるさと納税による大学支援の項目追加は。
- A 敬和学園大学支援項目については検討する。
- Q 大学と教育の充実、産業振興、健康長寿などを市とプロジェクト構築しては。
- A 地域づくりを念頭に包括協定を踏まえて必要に応じて協力していく。



キネス本田



**Q1 教員不足が子どもたちに及ぼす影響について**  
**Q2 プレミアム付商品券発行事業の課題について**

◎ 三母高志 議員



- Q 市内小中学校の教員不足状況はどうか。
- A 昨年12月現在の欠員は5名だ。
- Q 教員不足による影響をどう評価しているか。
- A 昨年実施したアンケートで92%が学校が楽しいとの結果から不足の影響はない。
- Q 教員の負担増加でいじめや不登校対応に影響があるのでは。
- A 教員の負担増加は子どもの小さな変化を見逃す要因となりかねない。

- Q 市民から公平性に課題があるのではとの声があるがどう認識しているか。
- A 商品券は経済対策で実施。他の施策や目的を含め論議したい。
- Q 他市で自己負担なく1万円を全市民配布した事例が有る。
- A 他市の事例研究を指示したい。



**Q1 市内小・中学校施設の改修計画について**  
**Q2 障害者控除対象者認定書について**

◎ 広岡けんじろう 議員



- Q 校舎のひび割れ等の大規模改修工事及び体育館床の張替えや学校全面改修を含めた小・中学校の整備計画の有無、並びに具体的な実施時期は。
- A 今後10年間で市内6校が築40年を迎えるため、日常点検や法定点検などの結果を踏まえ、財政計画と整合を図りつつ大規模改修の内容と実施時期を決定したい。

- Q 障害者控除対象者認定書の交付を受けるためには介護認定が前提条件だが、交付の前提条件の見直しを検討しては。
- A 本人や家族からの申請により控除を受ける事が可能となるように早急な対応を担当課に指示した。



**Q1 逆・介護保険制度について**  
**Q2 乳幼児と親を支える取り組みについて**

◎ 惣山かすみ 議員



- Q 重度化するほど報酬が増える仕組みとは逆に、利用者の要介護度改善・維持に応じて事業者成果報酬を支払うのはどうか。
- A 1人につき、1,200円支払っている。また、他の介護予防にも取り組んでいて、介護保険料は県内で1番低い。
- Q こども誰でも通園制度はどのような支援になるか。

- A 全てのこどもの育ちを助け、保護者の孤独感、負担感を軽減する取り組み。
- Q 保育園による「1日保育体験」を推進し、保育園と保護者の連携で幼児との愛着形成を。
- A 様々な行事で連携を図っている。すでに市内では、5園が実施している。





**Q1 続「若者が集うまちづくり」の現状と展望**



● 宮本佳太議員

- Q 子育て世代の移住促進に向けた情報発信強化策や民間活用検討は。
- A シティプロモーション室を新設し、移住情報ポータルサイト立上げ予定。ふるさと納税委託事業者の知見活用も相談中。
- Q 空き家バンクの利用実績と、リノベーションによる利活用の進捗や成果は。
- A 年間10件前後の成約実績。空き店舗の民泊施設化等の成果あり。

- Q 青年就農支援事業は市内農業者の後継対策の域を出ていないが、農地付空家利活用を絡めて市外からの就農移住者を増やせないか。
- A 農業で生計維持できることが前提で、趣味程度の就農希望者は想定していない。



**Q1 給食無償化の進展と中学校への拡大を**



● 高橋芳子議員

- Q 市長公約のもと、国の対応に対する市の見解は。
- A 全額国費でと再三の要望活動展開。国費を上回る分は保護者負担を求めず支援。
- Q 中学校の無償化の検討は。
- A 国の開始時に合わせ検討。
- Q 令和8年度の中学校給食費は食材費支援後でいくらか。小学校無償化で浮いた財源を中学校分に回せないか。

- A 保護者負担は年額約8万2千円。7年度より約7千円の増額。削減分は小学校分の支援に充て中学校分の充当はない。
- Q 学校給食費の公会計化は給食費の徴収・管理業務がなくなり実施見合わせか。
- A 多額の費用がかかるので、実施は慎重に判断する。



**Q1 高齢者屋根雪下ろし助成金の上げは出来ないか**

**Q2 公務員ハンターの体制や猟友会との連携は**



● 宮村幸男議員

- Q 今冬の大雪により市でも対策が必要だ。高齢者屋根雪下ろし助成金の上げや要件緩和を図れないか。
- A 変更は考えないが人件費等の高騰があり他市状況も適宜把握したい。また事故のないよう民生委員等を通じ安全を図りたい。
- Q 公務員ハンターを検討しているが、体制や猟友会との連携は。

- A 熊出没時は公務員ハンターや実施隊の役割分担で即時対応したい。
- Q 緩衝帯づくりが重要であるため、県管理の河川敷の草木除去を進めてはどうか。
- A 2級河川について、県に要望したが実現せず市で除去した。今後も県に要望する。



# 研修・視察の報告



## 議員政策勉強会

### ■農業が抱える様々な課題と今後の展望について

講師 新潟大学農学部  
助教 伊藤亮司さん



新発田市議会では全議員が共通の政策課題について、知見を得るために勉強会を毎年開催しています。今回は2月20日に開催し、騒動ともいえる「米価格高騰」について、消費者と生産者両面から状況を確認するため、テレビのコメンテーターなどでも著名な新潟大学農学部の助教である、伊藤亮司先生から講演していただきました。

農業経済学が専門であり、米倉集落や有機資源センターに関する活動もあったことから、「新発田愛」溢れるテンポの良い講義に、参加議員一同「目からうろこ」の内容で大満足でした。

昨今の米高騰のカラクリと、科学的な分析から見た今後の着地点、新発田の農産物を地元流通させる仕組み作りにより、更に「強い農業」が実現できるポテンシャルの高さなど示唆に富んだ提案もいただきました。

## 社会文教常任委員会 意見交換会

1月22日、認定NPO法人新発田市総合型地域スポーツクラブの方々和社会文教常任委員会委員が意見交換会を行い、部活動の地域展開（移行）などについて意見を交わしました。

新発田市総合型地域スポーツクラブ「とらい夢」が担っているスポーツ振興は、新発田市民の健康や体力増進にとって欠かせないものです。今回は令和8年度から本格的に行われる中学校部活動の地域展開など、「とらい夢」の役割や具体的な取組みについてお話を伺いました。



## 経済建設常任委員会 意見交換会

1月23日、新発田商工会議所の島津会頭をはじめ、副会頭・専務理事の皆様と経済建設常任委員会委員が意見交換会を行い、地域の課題などについて幅広く意見を交わしました。



その中でも、商工会議所と経済建設常任委員会の双方にとって共通の大きな課題として挙げられたのが、中心市街地の活性化です。

この課題については、今後も様々な意見を出し合い、問題解決に向け両者が足並みをそろえながら継続的に協議を重ねていくことを確認しました。

## 須賀川市議会行政視察に 対応しました

2月6日、福島県須賀川市議会の議会広報常任委員会が議会だよりのリニューアルについて行政視察のため来訪されました。

より多くの市民の皆様にご覧いただき、分かりやすく、市民目線の広報誌を目指し、活発な意見交換を行いました。



## 令和会 市民クラブ 新友会 公明党



中心市街地の賑わい創出について  
1月19日 神奈川県秦野市

秦野市では、若者が商業者や金融機関と意見交換等を行い、駅前道路での賑わい創出実験を経て、経営に挑戦できる支援制度を設計しており、小規模な個性に富んだ店舗は、若者が訪れる中心市街地の創出に繋がっていた。

川口市では、特定地域に集中した外国籍居住者の増加に伴い、地域住民との間でマナーやルールの違いから日常生活の苦情が多く発生していた。その解決に向けた話し合いの必要性はもとより、行政の関わり方の難しさを感じるものであり今後の参考としたい。



外国籍住民に対する取組  
について  
1月20日 埼玉県川口市

## 共道しばた



高松丸亀町商店街  
再生について  
1月27日 香川県高松市

明石市では、育児に多くの悩みを抱えている親を誰一人取り残さない「おむつ定期便」等の意義深い取組を視察した。そうした中、親子交流スペースハレハレで最新の遊具で遊ぶ子供たちの元気な姿が印象的であった。

高松市では、商店街を7ブロックに分け再開発に取り組んでいた。規模的に同様のことは出来ないが街の顔づくりについて多くのヒントを得ることができた。

姫路市の観光戦略プランは城下町しばたの観光施策の展開に大いに参考となるものであった。



あかしこども広場・0歳児見守り訪問  
(おむつ定期便)の取組みについて

1月26日 兵庫県明石市



姫路城を核とした  
観光戦略プランについて

1月28日 兵庫県姫路市

# 請願・陳情の処理経過及び結果

議会で採択された請願や陳情について、その処理経過や結果について、12件の報告がありました。そのうち、2件についてお知らせします。

## 陳情

件名 消費喚起を目的とした2月の観光・飲食支援事業の実施を求める陳情書  
採択年月日 令和7年3月13日

### 処理結果の概要

陳情の趣旨を踏まえ、令和7年4月11日に「しばたオイスターバー実行委員会」と意見交換を行い、同イベントが10年以上にわたり民間主導で継続され、市内飲食業の活性化に寄与してきた一方、さらなるPRや集客の強化に対する行政の支援など、希望する支援内容や事業の課題について双方で確認した。

#### 1 民間主導で実施を続けてきた「しばたオイスターバー」への支援について

本事業を後援事業として位置づけ、広報しばたや市ホームページ、SNS、市長定例記者会見等の各種広報媒体を活用しながらイベント情報を発信してきた。今後も実行委員会の意見をしっかりと聞きながら、これまで以上に情報発信の強化を図っていく。また、にぎわいの創出を目的としたイベントに取り組む市民団体等に対しては、既存の補助制度により支援し、事業費の一部を補助することで、民間の取り組みを後押ししていく。

#### 2 「牡蠣の日」を官民連携でPRしてさらなる消費喚起のための施策を支援について

国の重点支援地方交付金を活用した緊急経済対策である「今・得キャンペーン飲食プラン」について、「牡蠣の日」のイベントの参画を呼びかけ、集客拡大による牡蠣の消費拡大や回遊性の向上等により、官民連携による相乗効果につなげていく。

## 請願

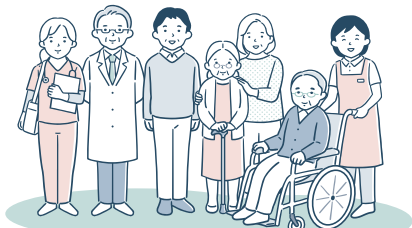
件名 学校給食に於ける除去食拡大に関する請願書  
採択年月日 平成30年12月26日

### 処理結果の概要

令和7年度に市内共同調理場の再編整備を行い、唯一、食物アレルギー対応が完全にできなかった川東共同調理場を廃止したことから、市内すべての小中学校に対して、7品目に係る除去食及び代替食の提供可能となった。なお、除去食及び代替食の提供において、給食費の追加徴収といった保護者への負担は求めている。

## 令和8年度新潟県市議会議長会春季定期総会を開催しました

令和8年1月29日、新発田市で県内20市の議長及び副議長が一堂に会し、交通インフラの整備、医療体制維持など県内各市の課題について協議をし、国に要望する方針を確認しました。



# Web議会報告会 を開催します。

誰でも!  
どこでも!

新発田市議会では、市民の皆様には、議会で議論された内容について知っていただき、市民の皆様からご意見をいただく対面形式の議会報告会とYouTubeの生配信によるWeb議会報告会を行っております。

令和8年度は、対面形式の報告会は秋に行うこととし、春の報告会はこのWeb議会報告会のみとさせていただきます。

また、当日はYouTubeチャットで質問を受付いたしますが、今回から事前にご質問やご意見等を受付し、当日にお答えする形式を設けました。下記の二次元コード(ご質問・ご意見提出フォーム)より送信をお願いいたします。



二次元コードを読み取ると  
下の画面になります。

日時

**6月5日(金)**  
19:00~20:30(予定)



場所

**新発田市議会**  
**YouTubeチャンネルでライブ配信**

内容

市の令和8年度当初予算の事業内容について、市議会で集中的に審議した内容を中心に報告します。また、配信中のチャットや事前に二次元コード(ご質問・ご意見提出フォーム)でお寄せいただいたご質問・ご意見にも一部お答えさせていただく予定です。

ご質問・ご意見の提出

- 受付期間： **5月1日(金)~31日(日)**  
※上記期間において、事前にご質問・ご意見を提出することができます。  
※当日もYouTubeチャットで質問等は受付いたします。
- 提出方法：右の二次元コードをスマートフォン等で読み込み提出フォームより送信
- 回答：当日Web議会報告会の配信中にお答えさせていただきます。  
※全てのご質問・ご意見にお答えできない場合がございますので、予めご了承ください。



ご質問・ご意見  
提出フォームはこちら

新発田市議会 YouTube



# 議会からのお知らせ

## 6月定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/7	8	9	10	11	12	13
			議会運営委員会		本会議 (提案理由説明) (委員会付託)	
14	15	16	17	18	19	20
		本会議 (一般質問) (一般質問)		(一般質問) 議会運営委員会	常任委員会 (総務)	
21	22	23	24	25	26	27
	常任委員会 (社会文教) (経済建設)			議会運営委員会		
28	29	30				
本会議 (議案等採決)						

※請願・陳情の提出期限は6月3日です。  
 ※変更等の場合は、ホームページ・エフエムしばた等でお知らせします。  
 ※一般質問2日目及び3日目は、一般質問の通告議員が多い場合に行います。

## 市議会議員報酬引上げへ 賛成多数で議案可決

市長から特別職報酬等審議会の答申どおり市議会議員の報酬額を上げる議案が2月定例会に提案され、総務常任委員会で審査後、本会議で採決の結果、賛成多数で可決しました。

	現在の報酬額 (H19.5.1改正)	改正後の報酬額 (H9.5.1適用)
議長	498,000円	512,900円
副議長	428,000円	440,800円
議員	396,000円	407,800円

### 編集後記

米国・イスラエルによるイラン攻撃に伴う原油高騰は世界経済を混乱させ、暮らしを取り巻く環境は落ち着かない状況となっており、何より長引く戦禍に心が痛みます。さて、新年度予算が成立し、物価高騰対策も盛り込まれておりますのでご覧ください。しばた台輪三百年にあたる新発田まつりなど、多くの方々を訪れていただき活気のあるまちとなるように、また、商工振興課、観

## 本会議を生中継しています

市議会ホームページで生中継します。  
 下の二次元コードまたは「新発田市議会」で検索し、「本日の議会中継」からご覧ください。



### 市議会ホームページはこちらから

新発田市議会



<https://www.shibata-shigikai.jp/>

### 市議会ホームページ画面



「本日の議会中継」の『生中継画面へ』をクリック  
 (生中継の約10分前にこのボタンが出ます)



『生中継1へ』または『生中継2へ』をクリック

光振興課、観光協会が松縁館(旧北越銀行)に移転することにあわせ、「まちなか賑わい創出」に繋がるよう議会でも議論を深めます。議会報告会ではバスツアーが好評で、テーマ設定のワークショップ等、新しい取組を検討しております。議会報告の充実に一層の努力をしたいと存じます。  
 (文責 高橋 芳子)

【広報広聴委員会】委員長／板倉久徳 副委員長／宮野清隆 委員／惣山かすみ・高橋芳子・長島徹・中村こう

